

# 一般質問

## 今こそ、森林資源の活用を



澤本 長俊 議員

**問** 原油の高騰により、市民の皆さんの日常生活はもとより、市の施設(温泉施設等)にも相当影響が出ていると考えられる。今後も原油高は治まるとは考えにくい。そこで、市の大きな政策の一つでもある地元森林資源の活用と合わせて、木質資源を利用したエネルギー転換を進めるべきではないか。

**答** 産業循環政策部長

**木質バイオマス利活用の研究を進めます**

化石燃料の枯渇や地球温暖化問題は喫緊の課題であります。この問題解決の糸口として、高島の自然を生かした「高島地域新エネルギービジョン」を策定しました。自然豊かな高島において、森林資源の活用は非常に重要であるため、費用対効果を十分検討し、エネルギー転換の研究を進めてまいります。

**問** 若者定住・人口増の具体策は

若者定住・人口増を考える時、市の中から見るのではなく、外から高

島市はどのように見えているかが重要だと考えるが、人口増には、JRでの通

勤者増が一番の早道だと考える。ダイヤの増便についての見直しはどうか。これまでも要望はしているようだが、現実思いを伝える力が弱いのではないか。

**答** 土木交通部長

JR西日本に引き続き要望します

通勤時間帯における新快速の増便は、若者定住の視点からも人口の増加に大きく寄与するとの考えから、JR西日本京都支社に対し実現に向けて要望活動を行ってきましましたが、実現には至らない状況であります。引き続き強く要望活動を行うとともに、利用増進の啓発にも努めてまいります。

## 市教育行政の政策課題とは



山川 恒雄 議員

1、政策提言機関としての教育委員会について

**問** 教育委員長と教育長の職務と権限は、今回の法改正でどう変わったのか。その違いは。

**答** 教育委員長

教育委員会をより活性化します

法改正により、教育委員長を代表とする合議制の教育委員会の権限が、事務執行者である教育長より、一層拡大されました。

**問** 8名体制により市の教育改革の目玉として、積極的な政策提言を行うとのことだが、具体的な提言策を問う。

**答** 政策提言に向け、

テーマを絞り込み、集中協議を行っていきま

**問** 教育行政の中で特に家庭教育についての最大課題は何と考えるか。

**答** 子どもに課題が生じる前から「家庭の力」が発揮できるシステムづくりが必要です。

**問** 教育委員長として、市の教育改革にどのように取り組まれるのか。

**答** 教育・子育てを核として、地域全体で課題や喜びを共有できる高島市であることを確信し、心の教育の充実や家庭教育への支援などに努めてまいります。

2、市の公共施設の管理実態と市の責任問題について

**問** 現時点での指定管理者制度の問題と課題は。

**答** 行財政改革推進室長

導入時の市民満足度の視点が少し欠如していたと思います。

**問** 各施設の整備計画の現状把握と課題認識は。

**答** 総合計画等に基づき効果的かつ適正な配置に努めます。

**問** 指定管理を含む各公共施設の管理・運営について、市の責任の所在は明確にされているのか。またその展望は。

**答** 市の責任については、設置者責任を果たしてまいります。

## 県版特区と高島市の観光振興について



小島 洋祐 議員

を企画し、ネットワークづくりを推進します。

**答** 産業循環政策部長

広域交流により地域の活性化を

両地域は鯖街道をはじめ古来より、交流や結びつきが強く、高島トレイルなどの共有の観光資源を活用した取り組みを行っており、今後とも、観光消費の拡大など、双方の地域の活性化に繋げていきたいと考えます。

**問** 「自然環境の保全」「観光振興」「地域振興」「環境教育の場としての活用」を基本理念としてエコツーリズム推進法が制定され、この法律に基づくモデル地域に指定をされた当地域の今後の推進方針について問う。

**答** 産業循環政策部長

地域資源を活かした観光地づくりを目指して

エコツーリズム推進法制定を機に当市の観光振興、地域振興につきます。高島トレイルや今般認定を受けた森林セラピーなど、市内の地域資源を活用した体験学習、教育旅行、企業研修の誘致に努め、また「全国エコツーリズム大会」を契機として、持続可能な観光地づくりに向けた取り組みを展開していきます。

藤樹先生の教えに関する研究や本の出版、伝統行事の伝承等、地元上小川地域の方々が中心となった様々な活動により現在があると思うが、今後50年後の450年祭に向け、どのような地元の方々の証言を資料として保存する必要があると思うかが。

**答** 教育部長

藤樹先生の教えを後世に

地元のみならず、さまざまな方々のご協力による3月7日の生誕祭をはじめ、市主催の事業と市民のみならず、民間のみなさま方が開催されます。協賛事業により、「藤樹先生」が市内外に浸透してまいりました。様々な事業展開で得られた貴重な成果については、単にイベントで終わることなく、形として残し後世へ伝承してまいります。

## 道州制と若狭地方と高島の文化交流について



宮内 英明 議員

政府の私的懇談会である道州制ビジョンが3月中旬報告で2018年の移行を提言している。地方経済の閉塞感を打破するために道州制による地方経済の活性化を訴えている。現実の企業社会を見ると道州制を先取りするように地域別に営業拠点を配置している。明治時代に作られた県境が現代の企業活動にマッチしないのではないか。

**答** 企画部長

広域的なネットワークづくりを推進します

前年度における若狭地域との活動については、国の「観光地域づくり実践プラン」の認定を受け、外国語版ホームページの作成や交流事業を実施しました。本年度は、鯖街道を軸としたモデルツアー等

「追分地先」の隧道化に向けて

**答** 土木交通部長

国道303号追分隧道開削促進期成同盟会は当市と小浜市・若狭町で構成され道路事情の悪い「追分地区」の、隧道化に向けた活動を行っています。



鯖街道(朽木市場)



高島トレイル

**問** 中江藤樹先生生誕400年祭記念事業について

※隧道……トンネル

※バイオマス……家畜排せつ物や生ごみ、木くずなどの動植物から生まれた再生可能な有機性資源